

くりのみ広場

くりのみ広場 令和4年春号（No.59）

発行・編集：社会福祉法人四幸舎和会 大阪府豊能郡能勢町下田尻20番地 TEL 072-735-2212 FAX 072-735-2213

発行責任者：大崎年史

★ 春号の★キラキラ★さん

毎号 元気に輝く利用者を キラキラさんとして 紹介します！

春号は セブン&チェリー作業所 姉妹さん です。



index

年頭所感	業務執行理事による今年度の事業方針です	P2~3
事業所めぐり	かたやま・おおざとの活動の様子と永年表彰です	P4~5
職員コラム・寄附	かたやまの赤いやね職員のコラムです	P6~7
新人職員紹介・ひとこと		P8

百年続く法人を目指して
一事業の多角化（多様化）をさらに進めますー



社会福祉法人四幸舎和会

業務執行理事 大崎 年史

桜が散りハナミズキが咲く頃に、この原稿を書いています。薄紅色等の花を咲かせた木々を見ると心が癒されます。この時期、一青窈さんが唄っている『ハナミズキ』がよくラジオで流れ、サビの部分の“君と好きな人が 百年続きますように♪”がとても心に響きます。

「人生百年時代」と云われます。我々の年代(昭和生まれ?)は「百年」スパンで人生を想像できませんが、今の若い人は、これから「百年」を意識して人生設計をしていくことが求められる(2007年に生まれた子どもの半数が107歳より長く生きると推計されており、我が国は健康寿命が世界一の長寿社会を迎えている—人生100年時代構想会議 中間報告より)—、そんな時代になってきています。

百年つながりでもう少し話を続けます。創業100年以上、200年以上続いている企業がどれだけあるか国別調査がありました。日本企業は、共に企業数で世界1位となっています。三井、住友のような大企業もありますが、いわゆる老舗と云われる中小企業も含まれています。これらの企業には多くの共通項があり、少し列挙すると、

- ・独自の使命が明確に言語化されている。
- ・社員を大切にしている。
- ・地域貢献を実践している。
- ・あらゆるリスクに備えている。
- ・成長意欲が高く、学び続けている等々。示唆に富むワードが多く、大いに参考にしたいと思います。

一方、我が国で百年の歴史を刻む社会福祉事業者も数多く存在しています。とりわけ、知的障害児者の分野では、1891(明治24)年に石井亮一先生が滝乃川学園を日本で最初に創設され120年をゆうに超える歴史を歩んでいます。大阪でも富田林市にある桃花塾が100年の歴史を超えています。社会福祉法人は、昭和26年(1951年)に施行された『社会福祉事業法』(現 社会福祉法)によって定められ、20,972法人(令和元年度現在)が社会福祉事業を運営しています。その公益性から社会に貢献していく責務があります。また、社会福祉法人は、利用者保護の必要性が高い事業(第一種社会福祉事業)を運営するため、経営の安定が求められるとともに、事業継続の責務を併せて担っていることを常に意識して励んでいきたいと思います。

さて、当法人は平成12年(2000年)にくりのみ園を開設し、一法人一施設からスタートし23年目に入りました。この間、生活介護事業所やグループホームを地域へ展開してま

した。事業を拡大していくことで、人が集まり、人が育ってきていると実感しています。また、事業を拡大し多様化していくことで長く歴史を積み上げていけると信じています。

令和4年度は、第Ⅲ期事業計画の2年目になります。下の図(紙面の都合で分かりづらいですが)は、第Ⅲ期事業計画の最終年(2030年)の予想図です。くりのみ園を中心、能勢エリアと池田・豊中エリアに面向して事業展開していく方向で進めていきます。



等、ご家族の意向も聴きながら進めています。1名でも反対があれば、この案は消えてしまうので背水の陣で検討していきます。

最後に、新型コロナウイルス感染の終息目途が未だに立っておらず3年目に入りました。この間、各事業所において、単発的にスタッフの感染等がありました。幸いなことに大規模なクラスターには至りませんでした。法人の事業運営等に多くの制約を受ける中、全スタッフは感染予防に努めるとともに、毎日緊張の連続で仕事をしています。その現状をこれからもご理解いただけますよう切にお願いします。

4月1日に3名へ採用辞令を交付しました。コロナ禍の中で2年間、思い描いていた学生生活を送れなかったのではと少し心配ですが、百年に向けてバトンを引き継げる人材に育っていくと大いに期待しています。



おおざとの赤いやねの春



かたやまの赤いやねの春

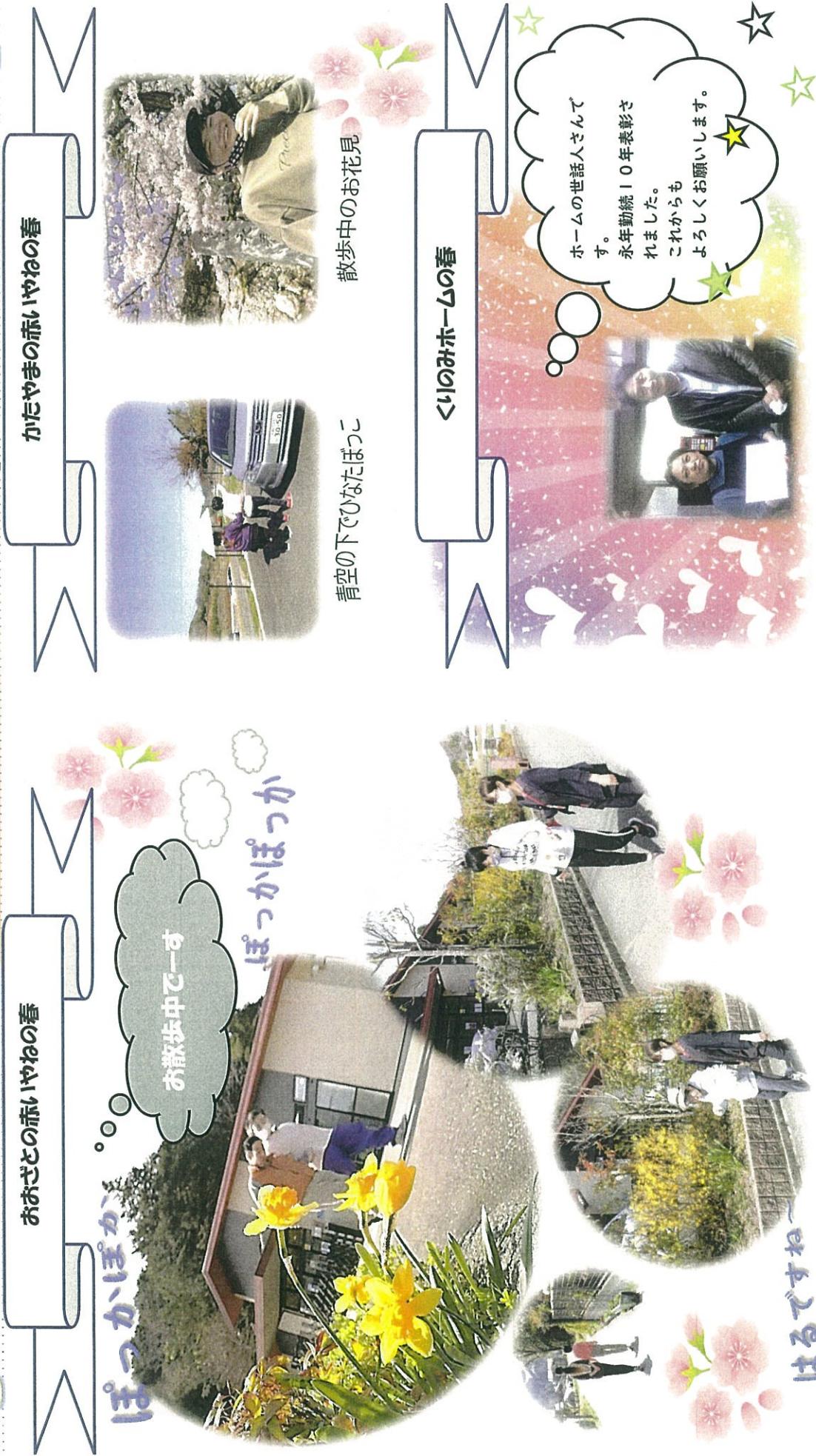


青空の下でひなたぼっこ



くのめホームの春

はるですね



職員コラム

かたやまの赤いやねがオープンして…

かたやまの赤いやね
サービス管理責任者 稲田昌平



「うちの子、かたやまに行くの楽しいみたいよ」

先日、参加させていただいた家族懇談会で、ご家族からこんなうれしいお言葉をいただきました。支援者としてご家族からこのような言葉をいただくのは、支援者冥利に尽きます。

かたやまの赤いやねがオープンしてもうすぐ一年が経とうとしています。これまでくりのみ園の従たる事業所として運営してきましたが、お陰様でこの4月に無事に独立することができました。去年の今頃、不安と期待が入り混じっていたなあと思い出します。

かたやまの赤いやねは、くりのみ園に入所しておられる利用者の方々に「日中の活動の場を提供したい」という想いから立ち上げられました。かたやまの赤いやねでは、利用者ひとり一人の「わかる」や「得意」に合わせた個別のプログラムを準備し、「わからない」「苦手」は環境(わかりやすい物の配置や手掛けかり・支援者)で補うようにしています。1年近くをかけ、利用者の皆さんのが安心してかたやまの赤いやねを利用できるようになったのではと思っています。

Aさんのお母さんはオープン前にこんなことをおっしゃっていました。

「うちの子大変やから皆さんに迷惑かけると思います」

今までのお子様の姿からオープン前にそう言われたのだと思います。Aさんはいろんなところが気になります。例えばコーヒー。大好きなコーヒーがいつ飲めるのかが気になってしまって、なかなかプログラムに集中できない…Aさん自身もそのしんどさから涙を流されていることもあります。どうやったら Aさんにとてかたやまの赤いやねが楽しい場所になるのか?ケース担当をはじめ、スタッフみんなで Aさんの得意を探し、周りが気にならない環境を整えました。コーヒーについては、プログラムをひとつ進めるたびにカードが溜まっていき、8枚たまる



とコーヒーに到達するシステムを作りました。カードがたまり、コーヒーがいつ飲むことができるのかということが目で見てわかるようになった Aさんは、得意を活かしたプログラム内容にうまくマッチして、現在はほぼ落ち着いてプログラムに参加しておられ、笑顔も多く見せていただけるようになりました。



「うちの子を丁寧に見てくださって本当にありがとうございます」

利用者の皆さんに喜んでいただけるように頑張ったことで、ご家族さんにもこんなに喜んでいただけるのだと改めて実感し、かたやまの赤いやねでの取り組みを進めてきて、本当に良かったと思う出来事でした。

今年度は支援をさらにステップアップさせていきたいと考えています。利用者の

方、ひとり一人が私たち支援者と同じように社会で生活して

いる同じひとりのひとであることを忘れずにさらに良い支援

を考えていきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



スタッフより一言

かたやまの赤いやねのオープンを支えてきた皆さんと一緒に働くこと

をとても頼もしく思いますし、仲間になれる事をうれしく思います。

当法人の理念に安心・充実した暮らしを…という文言があります。か

たやまの赤いやねを利用する方々が安心して利用し、満足感がある時

間を過ごせるように私も一緒に頑張りたいと思います。

かたやまの赤いやね 管理者 大嶋 基

寄附・寄贈のご紹介

- | | |
|---------------|-------------------------|
| ● 藤田 芳津 様 | 米 25kg×2回 |
| ● くりのみ家族会 様 | クリスマスプレゼント費用
¥80,000 |
| ● 根布谷 様 | マスク 120枚 |
| ● 多田 様 | ¥100,000 |
| ● たきざわクリニック 様 | コロナ抗原検査キット
30セット |
| ● 赤羽根 様 | きくいも 5kg |



長野県産 きくいも

令和4年4月現在

— 新人職員紹介 —

くりのみ園

支援員 小林 久留海



4月から入職しました小林です。

利用者さんおひとりおひとりに親身に寄り添いながら、丁寧にコミュニケーションを取っていきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。

くりのみ園

支援員 細井 実奈



4月から入職しました、細井です。

分からぬことばかりですが、利用者さんに寄り添いながら学んでいく事が出来ればと思います。
よろしくお願ひします。

くりのみ園

支援員 菊地 裕人



今年度より、入職しました菊地です。

くりのみ園で、支援員としての自分を磨き、利用者様に寄り添う支援を目指して頑張ります。

くりのみ園

支援員 松本 紀子



4月より正職となりました松本です。

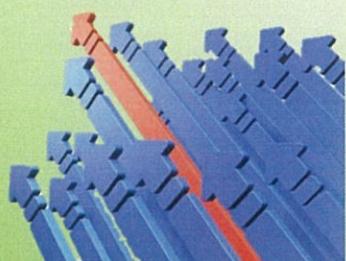
これまで、くりのみ園でアシスタントをしておりました。今年度からは正職としてのスタートです。新たな気持ちで頑張りますので、宜しくお願ひ致します。

— ひ・と・こ・と —

振り返れば、令和3年の新年号で私がこの文面を書いたのですが、その時は酒税の

増税がありました。この4月も様々な物が値上がり、私がこの記事を書く時には何かしら値上がりのあるような気がして縁起があまり良くないように感じてしまいます。

そうは言っても新しい春(スタッフや目標)がやってきました。法人の目標、事業所の目標、チームの目標、個人の目標をこの春に確認をします。それぞれのベクトルが七色に輝き、規律良く同じ所へ向かって行く様は想像するだけで美しいイメージが描かれます。そんな法人(組織)って素敵ですよね。私はロマンチストではありませんが、幻想なき理想主義を持って自分の価値、法人スタッフの価値を上げるよう努めたいと思います。



くりのみ園 サービス管理責任者 樹 宣明